

【公表】 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 児童発達支援OKプラネット荻窪

公表日 令和7年3月12日

利用児童数 令和6年11月27日時点 (回答者数) 46 (きょうだい児1組)

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	39	6	0	1	<ul style="list-style-type: none"> もう少しスペースが広いと運動の時に身体をたくさん動かせて良いと思う 狭すぎず広すぎず、人数に見合った広さだと思います 活動の様子を見ていない 少人数なのでスペースは充分だと思います。 今の所狭いと感じたことはありません。 複数人で走るときに少し狭いような気がしますが、あまり広すぎても子どもも落ちつかなくなるような気がします。都内マンションの一室であることを考慮するとやむを得ないと思います。 	法令に準じたスペースを確保しておりますが、スペースが限られていますので、参加人数が多い時は、ピアや2階のスペースなどを活用したり、活動内容を工夫・調整したりして、指導・支援を行っていきます。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	44	0	0	2	<ul style="list-style-type: none"> 活動の様子を見ていない 一人一人しっかり見てもらえていますし、毎日一緒にいる親でも気付けられないことや参考になるお話を聞いてありがたいです。 いつも丁寧に接していただいて助かっています！ 	法令に準じた職員配置をしておりますが、お子さんの人数や状況によって調整しています。引き続き、保育士、作業療法士、理学療法士、言語聴覚士、音楽療法士、公認心理師など、専門性を生かし、情報を共有しながら、協力して子どもたちの支援を行います。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	41	3	0	2	<ul style="list-style-type: none"> 子どもに分かりやすい環境ではありますが、バリアフリー化は分かりません 余計な道具を見えないようにして下さっていて、子どもたちが課題に集中して取り組んでいると思います。 本人の問題かもしませんが、玄関の段差が低いため土足と裸足の境界線がわかりにくいようで頻りに靴のまま上がってしまっています。 自転車置き場がもう少し多くあると助かります。 	段差は低く、少なくしています。今後も、子どもたちにとってわかりやすい環境を整え、情報伝達もしっかり行っていきます。自転車置き場については、場所が限られているため、引き続きご理解・ご協力のほどよろしくお願いいたします。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	44	1	0	1	<ul style="list-style-type: none"> いつも綺麗です 整理整頓されていて、機能的に工夫されていると思います。 活動するホールは広くて良いのですが、窓の位置や日当たりの問題で少し暗く感じます。 いつも清潔でこまにお掃除をされていると思います 	今後も毎日の清掃・整理整頓をしっかり行い、子どもたちが過ごしやすい空間と環境を整えます。
適切な支援	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	43	0	0	3	<ul style="list-style-type: none"> 机上遊びは個別にしてくださったり、細かくご配慮いただけてとてもありがたいです。 いつも丁寧に接していただいてありがたいです。 多岐にわたる専門の先生がいらっしゃる、親身に相談に乗っていただいています 	今後も子どもたちの特性や発達段階、心理状態に合わせて、必要な支援を検討し、専門性を生かし、情報を共有しながら、協力して子どもたちの支援を行います。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	43	0	0	3		今後HPで支援プログラムを公表し、いつでも閲覧いただけるようにします。
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	43	2	0	1	<ul style="list-style-type: none"> 課題や目標を分かりやすく言語化して下さりいつも助かっています。 話し合いを細やかにおこなっていただき、作成頂いています。 どのように進めていけば良いのか、しっかり説明して下さるので信頼しています。 面談で話したことを組んでいただきプログラムに反映していただいております 	今後も保護者の皆様のご意向やご意見をお聞きし、お子さんの様子を共有しながら支援計画の作成を行います。
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	41	1	0	4	<ul style="list-style-type: none"> 子供の成長に応じて考えてくださっているなあと感じます。 	今後も保護者の皆様とのヒヤリングの時間をしっかりととり、家族支援や地域支援も視野に入れた支援計画を作成し、丁寧に対応していきます。

の提供	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	45	0	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・計画を意識して、こどもにアプローチいただいていると思います。 ・先生方のお陰で日々成長してくれていて感謝しています。 	今後も、支援計画に沿った支援を実施していきます。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	42	2	0	2	<ul style="list-style-type: none"> ・身体運動や製作を適宜増やしたり、その子に今必要だと思われるものを考えてくださっているようで満足しています。 ・イレギュラーに弱いところがある子なので、今のよう毎回違うプログラムだと成長できていると感じます。 ・様々な取り組みを実施していただいております 	今後も、発達の促進に併せて、子どもたちが活動を楽しみにして来所できるような活動プログラムを設定していきたいと思ひます。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	21	3	13	9	<ul style="list-style-type: none"> ・保育園等には通っているの、交流の必要は感じていません。 ・他の子どもと交流する機会はないです ・保育園に訪問していただいているか確認もれました ・幼稚園には通わせていますが療育の時間に交流の機会があるという話は聞いていません。 ・みなさま色々な保育園や幼稚園から通っていらして、親同士で情報交換もできているので、あえての事業所での交流は求めません。 	ほとんどの子どもたちは通常の園に通園し、日常的に交流しています。 感染症の流行が落ち着いてきたら、NPO法人IamOKの会主催の課外活動などを企画し、ご案内していきたいと思ひます。
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	45	0	1	0	<ul style="list-style-type: none"> ・問題ないです。 	今後も丁寧な説明を心掛けます。
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	45	0	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・説明して頂きました。 	今後も丁寧な説明を心掛けます。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	45	0	1	0	<ul style="list-style-type: none"> ・こちらが学びたいことをとりいれて、プログラムを提供いただいていると思ひます。 ・先日のペアレントトレーニングは予定があつて参加できなかったの、また機会があれば参加してみたいです。 ・ペアレント・トレーニング、子育て支援相談や父親の会など多彩な機会を提供いただいています ・ペアレントトレーニングを低価格で受講させていただき、たいへん有難く思つております。 	今年度は、利用者向けに、各グループの保護者会(年2回)、父親講座(1回)、ペアレント・プログラム(連続4回)、ペアレント・トレーニング(連続2回)を計画・実施しました。 ペアレント・プログラムについては、連続して6回受講いただく必要がある課題を短縮して4回にしたり、短期間で終わるように毎週受講に変更して実施しましたが、参加が難しかった方や感染症の流行で欠席となる参加者が多かつたこと
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていますか。	43	3	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・いつも丁寧なヒアリングをありがとうございます ・その日毎に、こどもの様子を細かく伝えて頂いています。 ・毎回活動終わりに先生とお話しさせて頂いています。 	今後も、個別の相談対応や活動前のお子さんの様子の確認、活動後のフィードバックを丁寧に行い、共通理解を持ち、保護者との信頼関係を築いていくように努めます。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	44	2	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・こちらからお申しなくても声をかけて頂いて嬉しく思つています。 ・いつも相談にのっていただけていただき助かっています ・親の悩みの相談も含め定期的に話をきいていただいております 	今後も丁寧な対応を心掛け、気軽に相談いただける場にしていきたいと思ひます。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	42	2	0	2	<ul style="list-style-type: none"> ・大変寄り添つて対応頂いています。 	保護者とのコミュニケーションを大切にしていきたいと思ひます。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	33	7	3	3	<ul style="list-style-type: none"> ・きょうだい向けのイベントはありませんが、特に必要性を感じたことはなく、保護者会で十分だと思ひます ・保護者会で他の保護者の方のお話が聞けてよかつたです ・きょうだいへの支援は特にはない ・保護者会などの機会を設けていただいています。 ・保護者会はありませんが、兄弟姉妹の交流会の実施はとくに伺っていません。 ・保護者会や父母の会に参加しました。 	今後も保護者会など保護者向けのプログラムを企画・実施し、きょうだい向けのイベントや交流などの企画も検討します。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	40	2	0	4	<ul style="list-style-type: none"> ・こちらの要望に迅速に対応し、お話を聞いていただいています。 ・空いてる日で最速で個別相談をして頂いています。 ・メール等で周知いただけております。相談も迅速に対応いただけております 	今後も丁寧かつ迅速に対応していきます。
20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	44	1	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・とてわかりやすくお話しして頂いています。 ・クラスの終わった後には、必ずフィードバックがあり一人一人の様子を教えてくださいまして。 	保護者への声掛けや職員と話しやすい場や雰囲気づくりをして意思疎通を図り、HPやメール、フィードバックの後など、保護者に情報がしっかり伝わるように対応します。	

	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	36	0	0	10	・拝見したことがないのでわかりません。	毎月HPにてお知らせを配信、メールでお伝えしています。HPでは、自己評価の結果や不定期で事業所の取り組み、活動内容の紹介、行事の様子などを配信しているFacebookに
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	39	0	0	7	・問題ないです。	今後も個人情報の取り扱いには十分注意することを職員全体で周知していきます。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	43	2	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・近くの小学校まで歩く避難訓練は実際の避難に近いのでありがたいです。(幼稚園では園内だけなので) ・避難訓練がありました ・定期的な訓練があります。 ・避難訓練がどのくらいの頻度で行われているか確認できていないため ・避難訓練して頂いています。 ・2学期の初めに避難訓練を実施しました 	今後も各クラスでの年1回の避難訓練を実施いたします。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	—	—	—	—		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	36	2	0	8		プレイルームでは、角や床をマットで保護するなどして安全確保に努めています。また、事業所全体で、怪我や病気の時の対応の周知、ヒヤリハットの共有などを行っております。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	27	2	0	17	<ul style="list-style-type: none"> ・怪我等をしたことがないため分かりません。 ・事故や怪我がまだ無いので分からないです ・社内掲示などでも行なっていたいただいています。 ・うちの子ではないですが、迅速に適切に対応されていたのを見ております 	事故などが発生した際は、必ず活動後に発生時の状況と処置などについて保護者にお伝えしています。必要に応じて、病院での受診もお願いしており、緊急時は職員が行う体制であります。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	44	0	0	2	<ul style="list-style-type: none"> ・いつも笑顔で接していただき、否定されないという安心感があるのが、不安はまったくありません。 ・先生方がことが好きな様子です。 ・いつも楽しみにしています 	今後も保護者が安心してお子さんを預けられるように、安心・安全な環境づくりや対応を心掛けます。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	40	5	1	0	<ul style="list-style-type: none"> ・グループも個別も、休むのを嫌がるほど楽しんでます。 ・季節のイベントが嬉しいです。(ハロウィンやクリスマスなど) ・毎週楽しみにしています ・風邪を引いてしまったりしてお休みをする時はすごく寂しそうにしています。 ・毎週向かっている途中、「せんせいおはよう」と何度も言って楽しみにしています。毎回歌う「おはようの歌」も好きで、最近毎朝リクエストされます。母子分離も始まりましたが、毎回帰って来る時の笑顔で、楽しく活動できたことがよく分かります。 ・先生方がみんな優しく受け入れてくれるので、子ども安心して通えています。 	引き続き、子どもたちがプラネットを楽しみにして来てもらえるように努力していきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	43	2	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・大変な仕事にも関わらず、いつも温かく接していただき感謝しております。 ・子供の様子に臨機応変に対応頂き、いつも安心感をもって通所させて頂いています。 ・言語指導や感覚統合指導など申し込んでも受講できない場合がある点を改善してほしい ・いつも丁寧優しく指導していただき、保護者からの質問にも快く答えてくださってありがたいです。 ・大変貴重な支援をいただき感謝しております ・先生方がみなさん優しく温かく受け入れてくださるので、子ども安心して通えています。 ・いつも親子共々楽しく通わせていただき、心から感謝しております。OKプラネットの先生方、職員のみみなさまのおかげで前向きに子育てができております。これからよろしくお願いしたいと思います。 	言語指導や感覚統合指導などの特別プログラムに関しては、枠が限られているため、ご希望に沿えないことも多々あり、ご迷惑をおかけしております。現在、初回や年長の方など優先度を考慮し、対象の方のみにご案内・受付させていただいております。特に土曜日希望の方が多く、複数名の予約が重なります。予約については、1枠だけでなく、出来るだけ可能な日時の複数枠にお申し込みください。 ご不明な点やご質問などあれば、いつでもお声がけ、お問い合わせください。また、お気軽にご意見などお聞かせください。

【公表】事業所における自己評価表

事業所名	児童発達支援OKプラネット荻窪	公表日	令和7年3月12日
------	-----------------	-----	-----------

	チェック項目	はい	いいえ	どちらともいえない	工夫している点	課題や改善すべき点
1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	11	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・月曜日にグループのプログラムがある年長児は人数が多いが、2、3グループに分けて活動している。定期的に場所を交換し、子どもたちの様子を見ながら時にはメンバー交代もしているということが柔軟でいいと思う。 ・人数が多いクラスは2階と1階で分けている。1階は人数制限を設けている。 ・2階を利用したり、同じ部屋の中でもパーティションを利用して目的別にスペースを区切るなどして工夫している。 ・人数や発達段階などに合わせて、少人数や個別での活動を部屋を分けたり、プレイルームをパーティションで2つのスペースに分けたりして、限られたスペースの使い方を工夫しながら実施している。 ・人数が多い時には2つの部屋に分けてグループを行っているところ ・子どもたちの座る場所に目印をつけて、距離を取っている。 	引き続き、パーティション（仕切り）や他の部屋を活用して、法令に準じたスペースを確保します。
2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9	0	2	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの特性に応じて補助スタッフの人数を増減させている。 ・基準に合うように、職員配置を考慮している ・子どもに対して大人が多すぎることなく適切だと思われず。お子さんの状態によってはサポートに入って下さる職員もいるところが良い。 ・曜日によっては足りないと感じる時があるが、今年度は体調不良による子どもの欠席が多かったため、概ね足りていたと感じる。 ・土曜日利用希望者が増えているが、療育担当職員固定で2人以上の確保が難しく、利用定員を増やせない 	職員の配置状況に合わせた利用定員の調整を行いつつ、基準に従った配置ができるように、さらには参加人数や活動内容、お子さんの状態に応じて対応できる職員配置ができるような体制づくりのため、早めの勤務調整や業務のシステム化、業務量の調整などを行っています。
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	10	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・不要なものが目に入らないように調整している。 ・白い布で道具を隠している点。不要なものはパーティションに隠すことができる点が良い。 ・広い空間で落ち着けない子どもが多いクラスでは、狭い空間で始まりの会などを実施して、注目、集中して取り組める環境を設定している。 ・パーティションを使用して活動空間を区切っている。絵カード等を活用し視覚的にわかりやすく伝達している。 	引き続き、他の部屋を活用したり、仕切りなどで構造化したり、活動内容を工夫したりしながら、子どもが集中しやすい、わかりやすい環境づくりを行います。
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	11	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・活動内容に応じてパーティションの配置を移動するなどの対応をしている。 ・グループ活動の際、子どもの人数や様子によってパーティションで空間の調整をしている。 ・パーティションを動かすこと子どもたちがのびのび活動できると感じている。 ・常に換気に配慮し、毎日清掃している。子どもの大きさに合わせて机や椅子の高さを調整している。 	・今年度は外注でエアコン清掃を実施しました。引き続き、定期的な換気・清掃・消毒を行います。
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	10	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・個別の部屋を使用できるようになっている。 ・パーティションを利用し、隠れられる場所を作ったりしている。 ・不測の事態だと人手や部屋数が足りず対応が難しいこともある。 ・子どもがクールダウンできるなどの目的でプレイルーム以外の部屋を用意している。 	子どもの状態を職員間でこまめに共有し、個別指導に切り替えることも視野に入れ、個別対応が必要な場合の職員体制を整えられるよう検討・実施しています。

業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	9	0	2	<ul style="list-style-type: none"> ・年に1度業務全体の見直しと振り返りを行うと共に、定期ミーティングで随時課題の改善に取り組んでいる。 ・カンファレンスでは意見を出しあいやすい環境であるので、改善がはかりやすい。 ・キントーンやGoogleドライブ記録の活用によって、目標設定と振り返りが広く職員の目に触れられるようになった。 ・職員同士の情報共有や意見交換は活発。活動内容などについてSVできる職員と勤務日が限られており、十分にSVできていない。 ・毎回活動後は参加職員全員で振り返り、目標設定を鑑みて次回の活動へ繋げている。また、毎月のミーティングで、課題がある時は意見交換など話し合いをしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・活動記録のシステム化・簡素化で、支援目標を明確にした活動内容の設定や、振り返りでの次回の活動内容や対応について改善点など、検討・決定がスムーズになり、全職員が積極的に参画しています。 ・スーパーバイザーからの助言（SV）の定期的な打ち合わせの予定を立てたり、Kintoneの『スタッフQ&A』やオンライン(zoom)などを活用したりして、必要なSVが受けられるような環境設定を検討・実施します。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	11	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者向け評価表を実施しており、結果および対応を事業所内で共有している。 ・モニタリングで保護者からのご意向を聞き、担当に伝え改善に繋げている。 ・フィードバックでは保護者のお話を聞く機会を作り、メールなどでお話があったときには個別に話を聞くようにしている。ヒアリングも丁寧に行うようにしている。 ・毎年Googleアンケートで保護者の意向等を収集し、HPに掲載している。紙のアンケート用紙と比べ、回答しやすく、データ結果も分かりやすくなっている。ミーティングでもその都度確認し、業務改善につなげていると感じる。 ・保護者の意見は小さなものでも貴重なものと尊重し、ノートに記録し、職員全員で共有している。 	今後も日頃から職員間でのコミュニケーションを活発に行い、全体ミーティングでの情報共有を継続し、保護者の意見や要望は、Kintoneや議事録、個人ファイルに記録して、常に確認できるようにします。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	11	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・定期ミーティングを行っている。 ・カンファレンスや活動前の打ち合わせで、意見を聞くようにしている。 ・毎月のミーティングや、年2回の面談時に職員の意見等を聞いてもらえる時間がある。また、普段の勤務時にも児発管が声をかけてくれるので話しやすいと感じている。 ・毎月のミーティングは、職員が気づいたこと、気になることなどは言える雰囲気である。年に2回、施設長らと面談もある。 	引き続き、意見を述べやすい環境づくりを図り、現場の声を引き上げ、業務改善につなげていきたいと考えています。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	2	5	機会があればSVを受けたいと思っている。	現在は行っておらず、今後で検討中です。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	11	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・外部研修、内部研修共に実施されている。 ・ミーティングで研修について告知しており、研修に行く機会は担保されている。 ・杉並区からの研修案内が月に2～3届いているので、日程が合えばいつでも受講できる。（交通費支給あり）日程が合わない場合も、受講した方が内容を記録してキントーンに保存する仕組みになっているので、全員が情報共有できるよう工夫されている。 ・今年度初めて実施した職員間研修が良かった。 ・外部研修の案内も多く、参加は奨励されている。また、他の職種からの講義など内部研修の機会もある。 	今年度実施して好評だった所内研修や事業所間の職員交換研修など、より実践に活かせる研修を来年度も企画したいと思います。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0	4	<ul style="list-style-type: none"> ・公表についてはわかりません。前回の活動を振り返り活動内容の微調整を行うようにしている。 ・HPでの公表準備中。 ・行っているプログラムが適切なかが分からないときがあるので、そこについてのアドバイスをいただきたいときがある 	今年度中のHPでの公表に向け、現在準備中です。
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	11	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・計画作成前に保護者にヒアリングを行っている ・保護者の話を丁寧に聞き、確認を取りながら保護者のニーズを把握している。お子さんの様子もお伝えしながら、ご家庭での課題などすり合わせを行っている。 ・保護者との面談のもとに、支援計画を作成し、保護者に確認していただいている。 	今後も職員間で情報共有しながら、保護者からの聞き取りを丁寧に行い、お子さんのアセスメントをして、支援計画に反映させていきます。

適切な支援の提供	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	10	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・支援担当スタッフも計画検討に参加している。 ・作成時には、こどもの支援に関わる職員が必ず関わっているため、共通理解の元で検討ができていると感じる。 ・情報伝達、共有を重ね、慎重に作成している。 	関係する全職員が集まって会議の場を設けることは難しいため、引き続き、システム化による情報共有機能・伝達機能を活用して、検討・作成をお願いします。
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	1	2	<ul style="list-style-type: none"> ・リーダーに加え、サブスタッフとの情報共有をより丁寧に行っていきたい。 ・すぐに見返すことのできる場所にあるため、カンファレンスで必要に応じて見返すことができ、検討できる。 ・グループリーダーが、プログラムを作成するときに、目的部分に「〇〇くんは～できる」など、個別の目的を設定するなどして、職員間に共有できるよう工夫している。 ・個別支援計画は、個人記録の真ん中あたりにファイルされているが、記録する時にすぐ見えるように一番上にファイルするほうが良いかもしれない。 ・支援計画の内容を意識できるように日々の記録用紙に記載して確認できるようにしているが、見過ごしがちである。 ・支援計画を作ったら、クラスの職員には共有をするのは必要だと思います ・お互いに話し合いを重ねて、確認をしている。 	職員間で共有するための対策はとっているが、それぞれのこどもの支援計画や目標を意識した支援や振り返りができるように対応についてはうまく機能しておらず、現在再検討中です。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	1	4	<ul style="list-style-type: none"> ・NCプログラム等の標準化されたツールと合わせ、日々の行動観察も行っている。 ・事後カンファレンス等で確認している ・NCプログラムの発達状況に照らし合わせて確認できている。 ・遠城寺式発達検査、JSI-R使用。 	今後も事業所全体で共有していきます。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9	0	2	<ul style="list-style-type: none"> ・児童発達支援ガイドラインを踏まえている。 ・記録フォーマットを今年度改正して実施中。 ・一人ひとり課題が異なるので難しいこともあるが、活動のどこかで個々の課題に沿うことができよう工夫している。 ・本人支援、家族支援、移行支援は充実していると感じている。 ・ペアレントプログラム、父親講座など開催している。 	適切に項目や支援内容を設定した支援計画書を効率よく作成できるようなツールを検討し、準備しています。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	10	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・大まかな案はリーダーが立てているが、最終的な流れなどは打ち合わせを行って決めている。 ・活動後、チーム全員で振り返り、反省し改善点を見出し、次の活動に繋げている。 	引き続き、チームとして意見を出し合える環境づくりに取り組みます。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9	0	2	<ul style="list-style-type: none"> ・こども個人やグループの状況に応じ、プログラムを調整している。 ・同じプログラムでなれることが必要なお子さんがいるので、プログラムが固定化してしまうことがある。 ・毎回のカンファで話し合いながら、子どもの状況に合わせて変化をつけている ・運動や造形、音楽など多彩なプログラムを季節や子どもの状況に合わせて行っている。 	より年齢の低いお子さんは同じ活動を繰り返すことも大切なので、それも踏まえ、子どもの年齢、状態、発達段階にあった活動プログラムの設定を行います。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	11	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・こどもの状況に応じて個別活動と集団活動を組み合わせている。 ・個別活動を行う指導員と連携が取れていると感じており、スムーズな支援ができていると感じている。 ・集団活動以外に、NC個別、言語指導、感覚統合遊びなど、個別活動の種類が充実しているので、こどもの状況に応じて組み合わせやすいと感じる。 ・子どもの状況から、一旦個別を月に何回、集団活動を何回などと決めて行うが、成長など変化に応じて個別を減らし集団を増やすなど、そのバランスは流動的である。 	今後も継続します。

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	10	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・打ち合わせを行っている。 ・意見を出し合える環境なのでとても良い。 ・Googleドライブで支援内容を共有しているので、連携が取りやすい ・活動に入る予定がない職員にも、非常時に参加できるように把握してもらっている。 	今後も継続します。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	11	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・打ち合わせを行っている。 ・記録用紙が変更となり、暫く経つが、とても見やすいフォーマットのため以前の様子も話題に出しながら振り返りが行える。 ・振り返りの後は、次回の環境設定や子どもへの接し方など確認をしている。 	今後も継続します。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	11	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・書面で残し、記憶違いが無いようにしている。全員で確認してから終了している。 	今後も継続します。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	11	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・半年ごとに、担当者が保護者と面談して状況を聞き取り、成長を評価し、支援の見直しをしてる。 	今後も継続します。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのごどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	1	2	<ul style="list-style-type: none"> ・まだ完全に理解していないこともあるが、出席することもある。 ・会議はしていないが、必要時に個々に連絡を取り、連携を取っている。 	引き続き、児発管やグループリーダーが中心となり、関係機関との会議などに参画し、職員間で情報を共有します。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	10	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・以前、連携があったと記憶している。今後も必要に応じて連携していきたい。 	子どものニーズに合った支援を行うため、事業所から医療機関などの連携を保護者に提案するケースが増えています。今後も必要に応じて連携していきます。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	10	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者のニーズを確認しながら、必要に応じて園訪問や情報連携を行っている。 ・園訪問や保育所等訪問支援サービスを利用してもらい、情報共有をすすめている ・要望があれば、園訪問をしたり、電話での情報共有をしたりして連携を行っている。 	今後も継続します。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8	0	3	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者に情報連携の有用性の説明を行うとともに、希望に応じて就学支援シート等の情報共有用の資料を作成している。 ・書類を記入し、連携を図っている。必要に応じて電話や訪問などもあると良いかもしれない。 ・すばる2（就学支援シート）やwisc発達検査結果票などを利用して、支援内容等の情報共有をしている。 ・保護者会にて早めに就学相談につなげ、学校に提出するすばるへの記載も行っている。学校と直接やり取りはしていない。 ・就学支援シートでの申し送りを行っている。 	今後も継続します。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。					
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。					
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。					
31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	10	0	1	<p>今年度は発達センターの訪問支援の一環として、事例検討会を2回実施してアドバイスをいただき、職員の理解が深まり、職員間で共有して現場で実践でき、子どもの成長につながった。</p>	ぜひ、このような機会を来年度も設けていきたいと考えています。	

保護者への説明等	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	7	3	<ul style="list-style-type: none"> ・保育所等訪問支援で、職員が通園先に行く場合はあるが、通所の子どもは当所の通所だけである。所属する園で他の子どもたちと交流できている。 ・園に通っているお子さんは関わりがありますが、事業所としては関わるきっかけがないので、なにかイベントがあると良いのかもしれない。 	現時点では、園訪問の機会のみになります。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	10	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・受入れ時やフィードバックの際に保護者と情報共有を行っている。 ・フィードバックの際にお伝えするようにしている。メールでお伝えすることもある。 ・活動の様子を、毎回のカンファレンスで保護者に伝えるだけでなく、提供実績サービスマスにも記載している。半年に1回のヒアリングや、モニタリング時には対面で課題について話す機会を作っている。 ・毎回活動後に保護者へ向けたフィードバックを行っている。 	今後も継続します。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	11	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・ペアレントトレーニング、ペアレントプログラム、父親講座等を実施している。 ・定期的に行われているので良いと思う。 ・年2回の保護者会と、年1回の父親講座、ペアレント・プログラムとペアレント・トレーニングを実施している。 ・年1回プログラムについては、多数の保護者が参加できるように、事前アンケートをとってから日程を決めるようにしている。 ・ペアレントプログラムや父親会など行っている。 	今後も継続します。 ペアレント・プログラムのように継続して参加する必要のあるプログラムについては、興味関心があっても参加できない方もいて参加者が集まりづらかったこともあり、保護者が参加しやすい時期や時間などを再度検討して、来年度の計画を立てます。
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	0	3	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページや毎月のおたより、活動ごのFBなどで保護者に丁寧にお伝えしている。 ・見学時や利用開始の契約時は丁寧な説明を心掛けている。 	今後も継続します。
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	11	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒアリングを行っている。 ・子どもや親がどうしたいか、を確認している。 ・保護者と面談して、こどもや保護者の意向を確認している ・保護者との十分な時間の面談を行い、主訴など希望を聞き取り、子どもの状況に合わせた優先順位などを考えてから作成している。 	今後も継続します。
37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	10	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・もう少しお話しする時間があると良い。 ・詳しい説明が必要な時は、別途時間を作って説明している。 	内容を確認して頂いた後、保護者からの質問などに対応しておりますが、必要に応じ30分以内で説明する時間を確保したり、相談も含まれ長くなるようであれば別途時間を作るようにしたりして、調整していきます。	
38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9	0	2	<ul style="list-style-type: none"> ・子育ての悩み等に応じる機会がないため ・半年に1回の面談や、モニタリング、年2回の保護者会で子育ての悩みなどを聞いている。それ以外にも、メールでの相談や、子育て相談等も応じている。 ・所内相談の案内を掲示したり、声掛けしたりして相談しやすい環境づくりに努めている。 	今後も子育ての相談場所としての利用を促していきます。	
39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	8	1	2	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者会や父親講座を実施し、保護者同士の交流機会を設けている。 ・すべての保護者に発言してもらい、交流の場を設けられるようにしている。くらい話題にならないよう配慮している。 ・保護者会や父親講座を開催し、保護者同士で交流する機会を設けている。 ・保護者に対する交流の機会は設けているが、きょうだい同士については設けていない。 ・定期的子どもたちの状況に合わせた内容の保護者会を行い、最後には父母同士のフリートークの時間を設けている。 	今後も継続します。 NPO法人の活動の紹介と参加も勧めます。	
40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	11	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て相談の仕組みを案内し、要望に応じて対応している。 ・児発管に相談している 	今後も継続して、所内相談の保護者への周知、相談対応を行っています。	

	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	10	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・お知らせの配信、HP、Facebookでの発信をしている。 ・FBやHPで発信している。FBはわかりやすい。 ・毎月の活動スケジュールをメール配布している。 それ以外にも、FacebookやHPに活動概要や行事予定を掲載している。 ・毎月のお便り発行や、事前に内容を知っている方が落ち着いて取り組める子どもの場合などは、メールで保護者にお知らせするなど、密に連絡体制を整えている。 	今後も継続します。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	11	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・ロッカーに鍵を掛けている ・個人ファイルなどは、厳重に鍵をかけて保管している。 	今後も継続します。 全職員に取り扱いについて周知し、十分に注意していきます。
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	11	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・あったことをお伝えし、必要に応じてお話をする時間を設けている。 ・子どもへは絵や写真などのカード提示、保護者にはメールのみならず送迎時に伝達されているかの確認の声掛けなどしている。 	今後も丁寧に情報共有や質問・相談などの対応が行えるよう努めます。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	2	8	コロナ前までは交流があったが、その後はなくなっている。	感染症の流行が落ち着いてきたら、検討・実施したいと思います。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	10	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練を実施しており、様子をフィードバックでお伝えしている ・職員間で、対応マニュアルに沿って緊急時の訓練や防災訓練を行っている。 	さらなる職員および保護者への周知を検討・実施します。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的な避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	11	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練を定期的に行っている。 ・9月、10月のミーティング終了後に、BCP読み合わせ、および実地訓練実施。 策定し、訓練を行ったところ、新たな気づきがあった。 	今後も継続します。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	9	0	2	<ul style="list-style-type: none"> ・予防接種については把握ができていなかった ・見学や入所の際に、確認している。 	予防接種についても確認することを保護者及び職員に周知します。
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	0	6	<ul style="list-style-type: none"> ・食品の提供は原則行っていない。イベント等でお菓子を配布する場合は保護者に確認と了承を取ってから配布している。 ・心配がある子供は、口頭で指示をもらっている。 ・医師の指示書に基づく対応はできていないと感じている。保護者の申告に対しては対応ができていると思う。 ・保護者へ毎回事前に確認をとっている。 	医師の指示書が必要なケースはありませんでした。今後も保護者と食物アレルギーについて確認した上で、配慮が必要な場合は職員間で共有し、対応します。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0	6		日々の活動では安全面に配慮し、適宜対処して支援を行っています。 安全計画については職員全体での共有し、研修などの実施を検討します。
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	1	6	<ul style="list-style-type: none"> ・家族への周知は、これからの課題。 ・子どもたちとともに、防災訓練を実施している。 	保護者への周知の方法も検討・実施します。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	11	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・新しいヒヤリハットが登録された場合、スタッフに自動で通知し共有している。 ・PC上で確認できるようにして情報共有している。 ・kintone上で管理しており、いつでも見られるようになっている。また、必要に応じてミーティングで共有している。 ・ヒヤリハットをキントーンで管理し、記入があった時には全職員にお知らせがくるようになっているため、事業所内で共有できている。 ・職員全員で共有できるようにKINTONE上に記載し、各自が閲覧できるようにしている。 	今後も継続します。
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	11	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・研修に出させていたideている。 ・研修には職員が交代で参加し、内容についてはミーティングで共有している。 	今後も継続します。	

	53	<p>どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。</p>	4	1	6	<ul style="list-style-type: none"> ・身体拘束は行っていない。 ・身体拘束の対象になる子は、現在いない。 ・身体拘束をする機会がない ・身体拘束は行っていない ・契約時に説明しているが、個別対応が必要なお子さんはいなかった。 ・該当するお子さんの利用がない。 	<p>原則身体拘束は禁止、そのような事例もありません。</p> <p>子どものパニック時や自傷他害の危険があるときの対応については、都度話し合っており、環境設定など対応を検討しています。</p>
--	----	-------------------------------------------------------------------------------------	---	---	---	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------------------------------------------------------------------------------------------